

解 答

- 一 a 断言 b 技能 c 成績 d 拾
- 二 人間の本質的な面に触れる、自分自身の悩みや苦しみに真剣に向き合ったということ。
- 三 弟として先輩をよく知り、作文が得意だとされている「俺」なら、先輩の気を引くような言葉を提供してくれると思ったから。
- 四 ずっと一緒に暮らしてきた兄がいなくなるのに、さびしいと思えず、本当の兄がどんな人間かも知らない自分を情けなく思い、兄の本心を少しでも知りたいと思ったから。
- 五 文章は腹の足しにはならないが、料理ならおなかを満たすことができるという現実的な考え方をするとところ。
- 六 エ
- 七 長男なのに家業を弟に継がせて上京しようとする自分は身勝手なのではないか、また、そのことを弟は本当は不満に思っているのではないかということ。
- 八 同じ家庭で育ち、一緒に暮らす兄弟にしては、関係が希薄でさびしいと感じたから。
- 九 自分の生まれた場所に
- 十 兄の書いた読書感想文を思い出し、家族や町に対して兄が抱いていた疎外感に気づき、自分に合う場所を探そうとする兄の気持ちがわかったから。
- 十一 岡野の手紙に込められた「俺」からの励ましを確かに受け止めたこと、そして、店を継ぐ以上に真剣にやりたいことが「俺」にできたら、兄としてそれを応援し協力したいと思っていること。
- 十二 Aでは、要領がよく、えらそうな態度で、面倒なことを押しつける兄に不満を持っている。Bでは、無責任に見えるながら、長男としての身勝手さ、そのために店を継ぐことになる「俺」の気持ちを思い、悩む一面に気づく。Cでは、人間として合わないところがありながら、兄として弟の「俺」を思う気持ちを感じ、兄弟としての温かい感情を持っている。
- 十三 考え方も趣味もちがい、理解し合えなかった兄弟が、他人の代筆をすることによって、互いに相手がどんな人間なのかを真剣に考え、自分自身の思いを伝える文章を書いたところ。